

### (3) 村にのこる古いもの

館岩村は、むかしは今までの学習からわかるように交通が不便であり、また、冬は雪にとざされ、よそとの交流が少なかったようです。しかし、自然のよさにはめぐまれ、よそにない生活や文化、くふうをつづけてきました。

そのことを知る事ができる、むかし使ったいろいろな生活の用具や道路がのこっています。

#### 年中行事

- 1月 歳の神(15日) 福を祈る炎が夜空をこがす。お餅も楽しみです。
- 3月 日刊スポーツ杯スキー大会  
(春分の日)  
いwana釣解禁(3/20~9/30)
- 5月 コブシ、山桜、梅、桃が咲き競う
- 6月 田代山山開き(第2日曜日) 記念品やお神酒サービスあり。  
チングルマ、ヒメシャクナゲ、ワタスゲ、など一斉に咲く、山菜刈りも盛ん。  
いwana釣り大会  
(6月第4, 7月第1日曜日)
- 7月 田代湿原にニッコウキスゲが咲く。
- 8月 村まつり(31日から3日間)  
特産のリンドウ出荷始まる。
- 10月 紅葉祭  
旧中山峠をヘルシートレッキング、秋の味覚を楽しむ。
- 12月 スキー場開き。

### <むかしのようすをつたえるもの>

#### ▼曲家の見取り図



むかしは、きびしい冬の寒さにもたえ、家畜をだいにしたかやぶき屋根の曲家造りが多かったそうです。

ほとんどの家では馬をかって、こやしをとったら、農作業につかいました。今もすんでいる人がいますが、雪国ならではのくふうされた造りだそうです。